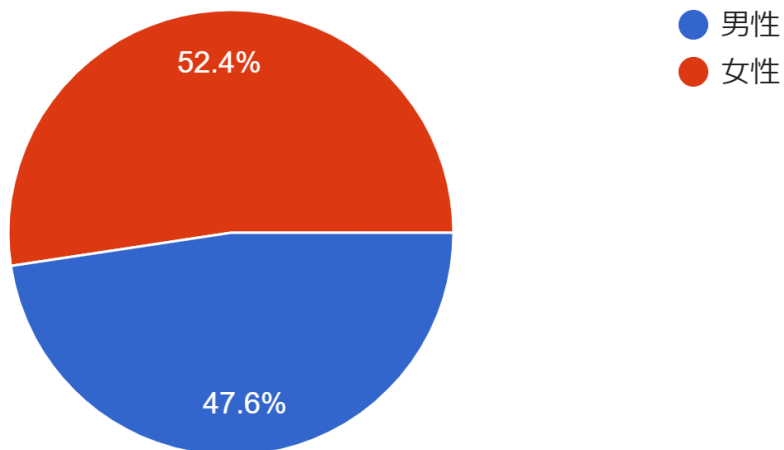


# 第3回「島原市在宅医療・介護連携セミナー」アンケート

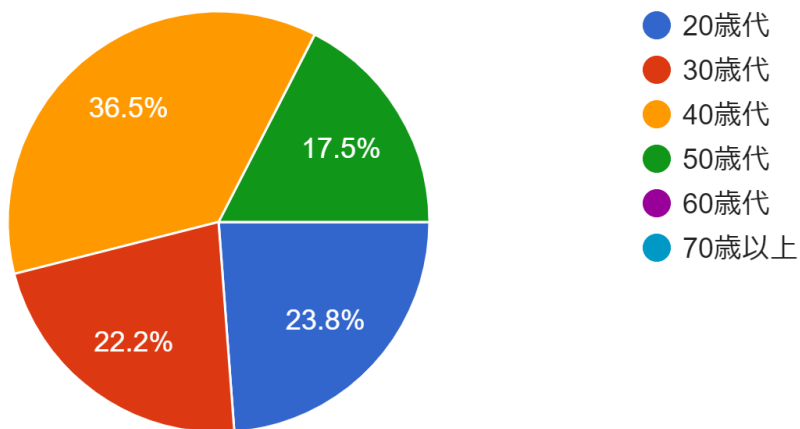
## 1、性別

63件の回答



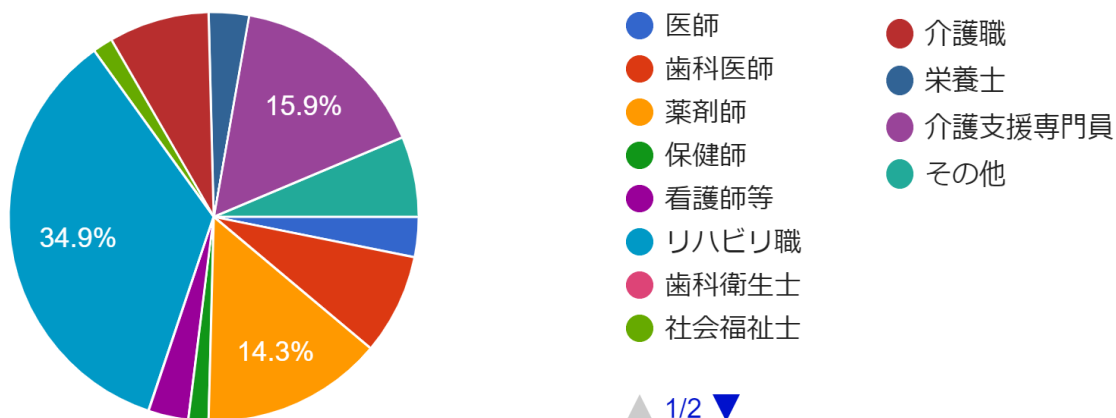
## 2、年代

63件の回答



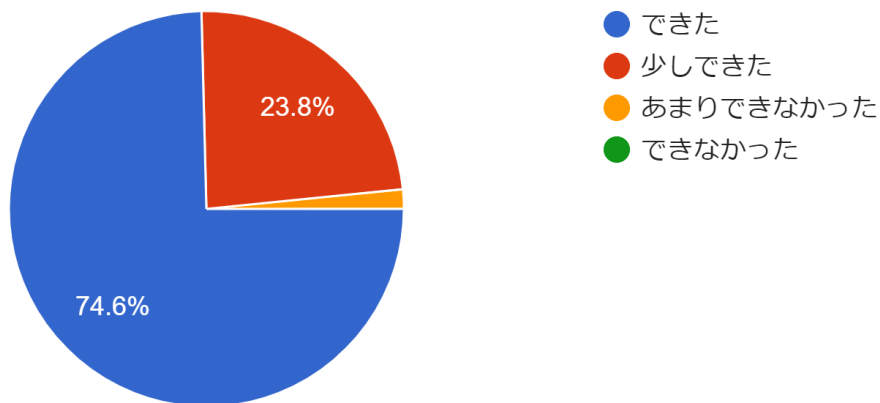
## 3、現在従事している主となる職種

63件の回答



#### 4、本日の講演内容は理解できましたか。

63件の回答



講演を聞いての感想をご記入ください

38件の回答

- ・押し付けではなく、やりがいを というのは大きいかなと思いました。
- ・支援の工夫で、こんなに人が生き活きと暮らせるようになるのか、と感動しました。ご説明、とても分かりやすかったです。ご講演ありがとうございました！！
- ・ICTの活用やチームビルディングなど興味あるのでこれからも知識やネットワークの輪を拡げられるよう頑張っていきたいと感じました。
- ・ご利用者が、その人らしく生きていくための接し方について、改めて考える機会をいただきありがとうございました。悩むことこそ人間らしい。生きがいは、目標に向かって歩く道程そのものにある。普段支援を行う上で悩んでいたことが、この言葉で救われました。
- ・普段我々が行っている支援の中で、普段の生活場面を意識したりハビリを行なっており、今回の研修で更にその意義の重要性を理解できました。その人がその人らしい生活をおくれるよう、主体性を大切にしながらこれからも支援していきたいと思います。
- ・新型コロナウイルス化の中での介護や支援方法について詳しく学ぶことができました。
- ・薬局薬剤師はこれから在宅医療にどんどん参加していかなければならないので、とても参考になるわかりやすい貴重な講演でした。
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・わかりやすかったです。
- ・目的の達成のみでなく、その取り組む過程に意味があることを再度学びました。
- ・リモート参加初めてでしたがパウポ資料も見やすくてよかったです。やすく為になりました。
- ・目標を患者さんと共有して、リハビリに励もうと思いました。
- ・今後の在宅生活を支援する為の関わり方や支援の方法の手段について学ぶ事が出来ました。

- ・その人らしい支援の大切さがわかりました！
- ・再確認できる部分がたくさんありました。ありがとうございます。
- ・単にお世話をすることではなく、本人の自信を回復させて本人の社会参加が大事と言うことは、なんとなくわかっていたような気がしましたが、実際の話聞いて、改めて実感しました。
- ・その人らしく生きるためには、地域とつながるきっかけが必要。多職種で良好な関係性を築き、チームの調整を図ることで、利用者様のQOLを高めるような支援をしたいと思いました。
- ・リハビリではADLの動作を見ることが多いが、その人らしい生活を送ってもらうためにADLの意味を考えることの大切さを改めて感じた。
- ・介護支援される方のらしさを出来るだけ取り入れようとする取り組みがとても素晴らしいと思いました。
- ・「その人らしさ」の捉え方が、とてもよくわかりました。
- ・他職種連携の大切さを再確認しました。
- ・支援に一番必要となる、その人らしく生活していけることへの支援。一番基本となる肝の部分の部分を改めて多職種で確認していけて有意義だと感じた。自分たちが島原で過ごす時、そういう支援のある島原市に住めたら幸せだなと思います。
- ・多職種連携が謳われている昨今、その人らしい生活が送れるような取り組みをチーム全体で行えているかを、再度確認できる良い研修でした。
- ・本人のやりたいことを目標として関係者で共有し地域と繋げていくことで本人の意欲があがることがわかりました
- ・大変参考になりました
- ・今回、先生のお話を聞いてADLの意味を考え直すきっかけとなりました。その人らしさ人とのつながりの大切さを再確認しました。コロナ渦のなか、交流を減らす中で高齢者にもスマホの利用を勧めることも必要だと感じたので機会を見ながら進めていきたいと思っています。
- ・チーム作りや関係の質を高める方法は参考になり、考え方など勉強しようと思いました。
- ・私の場合、退院支援を考えるにあたり、どうしても、退院支援の「システム」をどうするか？に着目しがちになってしまいます。しかし、松坂先生のご講演では、ひとりひとりの患者さんの心理や、いきがいにも着目しながら、退院支援を考えておられ、気持ちを新たにできました。
- ・ただリハビリするだけでなく、本人の生きる喜びにつながる目標設定をしていくことが大事だと感じた。
- ・長崎市内のリハビリテーションの支援体制が島原半島にも必要と感じた
- ・一部聞き取りにくいところもあったが具体的に島原をあげてもらいながらわかりやすかった
- ・内容的にはわかりやすかったが、困難な事例についても聞いてみたかった。
- ・コロナと共生の時代においていち早くICTを取り入れた支援のシステムづくりに取り組んでおられて素晴らしいと思いました。

## 5、「退院カンファレンス」における現状の課題は何だと思いますか。

### 31 件の回答

- ・各職種のタイムスケジュールを合わせるのが困難。ただ、歯科では入退院をきっかけに歯科治療が中断してしまうという問題があり、対応が望まれます。
- ・参加したいときにタイミングが合わないこと、ここもICTの活用が出来ればと思うがまだまだ課題は多い。参加できないときのため、また時間を有効に使うため事前に必要な情報、伝えたい情報を整理しておくのも良いのかもしれない。
- ・最近退院カンファレンスに呼んでいただく機会が増えてきたところに、コロナの影響で、書類のみのやりとりになってしまいました。松坂先生の話にあった、ICT技術を使ったカンファレンスが可能になれば、顔が見れるので、書類だけよりもいいと思いました。
- ・それぞれが多忙であり、一箇所に集まって会議をするということがなかなか難しいと思います。
- ・他職種間の連携、認識不足。
- ・多職種との情報共有
- ・カンファレンス開催時期など
- ・多職種連携
- ・コロナで集まりづらい
- ・本人主体ではなく周囲の職種や家族の考えが強いと感ずます。
- ・参加する人が限られていること
- ・コロナによりあまり集まれないこと。
- ・退院後の生活の実際と仮定の話でのくいちがいがあるということ
- ・疾患や症状からの回復にのみ視点が行きがち。専門用語が多く、利用者や家族が置き去りになってしまうことがある。その人らしい生活を再開するために、本人主体のカンファレンスを行う必要がある。
- ・参加率があまり良くなく、他職種での情報交換が不十分。
- ・カンファレンスの事前準備。医療と介護、その他関係者のバランスと、相互のコミュニケーション不足。
- ・医療、介護以外の「つながり」に結びつけること
- ・他職種との情報交換や介護サービスの内容など
- ・研修でも指摘された、ケアマネジャーの不得意分野を得意分野にする事で、退院カンファレンス時に様々な提案をするべきだが、できていないこと
- ・カンファレンスの開催基準が統一されていない
- ・本人の自己決定や情報が少なくその人らしさが出ていないと感じた。
- ・事前に余裕をもって日程調整して下さるところがほとんどですがまれに、直前や退院してしまってから連絡がある。入院時にカンファ参加や退院前にサービス調整が必要と伝えて事前に連携してるのに。入院中の新規の利用者退院後からサービス必要でも感染(コロナ)防止のため面談に制限があること。

・今回のリモートに参加しているメンバーをみると、医師、包括職員、介護支援専門員、リハ職が多いように思えました。退院支援を考える学びの機会に、もっと病棟の看護師さん方に参加してほしい。師長さんをはじめ、病棟の看護師さん方は、日々の看護に追われ、また、師長さんはベッドコントロールに追われ、本来の退院支援が難しいように思えます。

・病院によっては、退院前カンファレンスのお声かけをいただけなかったり、知らない間に退院されていることもある

・開催時期や内容などバラバラで開催されていること

・医師の協力が無い

・開催の手間の割に、形式的になりがちだったり、逆に冗長になったりしがち。

・これもリモートですべき時が来るかもしれませんね。

6、リモート研修を受けた感想やご意見、今後受けたい研修内容などご自由にご記入ください 31件の回答

・今後の研修会開催の参考となりました！ありがとうございました！

・会場で聞くより、声も資料もわかりやすく良かったと思います。ただ、会ったついでのちょっとした情報交換とかは難しいですね。

・リモート研修は初めてでしたので新鮮でした。恥ずかしながら自分自身がzoomの操作を理解しきれていないので、勉強します。

・慣れない中進行ありがとうございました、特に不都合は感じませんでした。資料の事前配付やQRコードでのアンケートなど助かりました

・松坂先生が話しをされている画面が映らずスライドだけだったので残念でした。

・今回はコロナ下で対応が大変な中、研修の機会を作ってくださいありがとうございました！新しいツールを使うことで新鮮な気持ちで受講することができました。また、会社から参加できましたので移動の手間が省けたことで時間的余裕もできました。研修に関してですが、スライドと発表者の方を近くで見ることができたので集中できました。長すぎる研修の場合は少し集中力が散漫になることもあるので、zoom内でのグループディスカッションなどを使って場の展開をしてもいいのかと感じました。ご準備等大変だったと思います。本当にありがとうございました！

・講師の声が聞き取りづらかった。

・慣れるまで時間がかかりそうです

・初めてだったのですが、良かったです。ありがとうございました。

・音声小さく聞き取りづらかった。

・リモートによって、自宅でも参加出来ることに感謝しています。コロナ下ではありますが、今できる方法で患者様を支えていきたいです。ありがとうございました！



・大変いいお話で、とても参考になりました。ありがとうございました。実際の退院、そして自宅での生活といったところでのフォロー例や関わり方について聞いていきたいと思いました。

・無事参加できてホッとしました(´▽`\*)

・講師の先生の声が聞き取りにくかったのが残念でした。質問は、チャットでもある程度受け付けるとよいかと思いました。

・リモート研修の方が、参加しやすい。

・初めての試みお疲れ様でした。準備が大変だったと思います。私も無事受講できて良かったです。ありがとうございました。

・自宅で受ける場合はWiFi環境が整っているか？スマホで受ける場合、途中で電話が鳴ったらどうするか？等々あるが、時間とお金のムダを軽減できるし、とても良かったと思います。

・当方も初めてのリモート研修参加でしたが私自身が緊張してあまりスムーズに話が出来ませんでした。今度またがんばります。

・スマートフォンで参加しましたが、支障なく参加出来て良かったです。

・初めてのリモート研修と考えれば、かなり上出来だったと思います。当法人内で研修に使った際には、もっとトラブルが多かったです。お疲れさまでした。参加者の皆さんも使いこなせていたと思います。

・初めてのリモート研修できたが、途切れることなくスムーズに視聴できました。

・目が疲れましたが😊大きなスクリーンを見ながら距離を取って受講できると良いと思いました

・初めてのリモート研修で不安であったが無事受講できて嬉しかったありがとうございました

・従来の形よりもリラックスして講義に集中できた。

・短期間での準備大変だったと思います。お疲れ様でした。事前の質問受付(もし既にしておられたらすみません)音声がわれていて聞きづらく感じました。メールはccでなくbccで送ったほうがいいかもしれません。個人のアドレスを使っている人もいたと思います。